

2019年度
第1回 核医学診療推進国民会議
会員総会

～報告事項について～

目次

1. 会員管理状況
2. 現在までの活動報告
 - 1) 企画委員会の発足
 - ①用語集の作成
 - ②広報誌の作成
 - ③核医学治療一般向け資料の作成
 - 2) 活動方針にPSMAを追加
 - 3) 関連患者団体等との連携
 - 4) 事務局業務の外部委託
3. 今後の活動予定

1. 会員管理状況

2020年6月1日現在

- 正会員 : 84名
- 一般会員 : 215名
- 賛助会員 : 9社1名

- 2018年度第一回総会から現在まで、広報活動を積極的に行い、当国民会議の活動に参画する会員の数を増やした。
- 特に一般会員が98名→215名と大幅に増加した。

バイエル薬品株式会社、富士フイルム富山化学株式会社、株式会社千代田テクノル、株式会社 新日本科学、日本メジフィジックス株式会社、ムンディファーマ株式会社、住友重機械工業株式会社、笹井有美子様、株式会社アトックス、丸文通商株式会社

(参考)

第一回総会（2018年9月14日）時の会員状況

- 正会員 : 69名
- 一般会員 : 98名
- 賛助会員 : 8社1名

(会員登録順)

2. 現在までの活動報告

- 2019年11月1日の理事会兼会合にて、2019年度活動予定の特記事項として以下の4点が挙げられている。
 - 1) 企画委員会による具体的な活動の開始
 - 2) 活動方針の主な対象分野にPSMA（前立腺がん治療）を追加
 - 3) 関連患者団体等との連携を深める
 - 4) 予算措置として事務局業務の外部委託

2.1) 企画委員会の発足

- 2019年4月28日の理事会兼会合にて、会員への情報提供等を進めるため、**企業賛助会員からなるサブコミッティ**を発足することとなった。
- サブコミッティは企画委員会として、2019年7月25日のキックオフミーティング後始動することとなった。

【企画委員会の内容】

- 情報発信力を高めることを目標として、客観性を保ちつつ、核医学治療について広く周知していけるようなプロジェクトを実施する。
- 実施プロジェクトとして、**用語集の作成、広報誌の発行、一般向け冊子の作成**を進めている。

2.1) 企画委員会の発足

①用語集の作成

【目的】

- 会員や一般の方に核医学診断・治療について簡単に検索していただくために、放射線関連の基礎用語について簡単にまとめたページを作成する。

【媒体】

- 核医学診療推進国民会議 ホームページ上。

【公開日】

- 2019年12月19日 (公開中)


2.1) 企画委員会の発足

①用語集の作成

【ページ例】

- 各項目を簡単に解説。

ホームページ上の「用語集等」をクリック！



核医学診療推進 国民会議

National Conference for Nuclear Medicine Theranostics

- 最新情報
- 組織概要
- 活動方針
- 用語集等**
- 入会案内
- お問合せ
- 賛助会員
- リンク集

医学に用いられる放射線・放射能関連基礎用語

このページは、放射線関連の基礎用語について簡単にまとめたページとなっております。

【目次】

○放射線基礎用語○

放射線・α(アルファ)線・β(ベータ)線・陽電子線・γ(ガンマ)線/X(エックス)線・中性子線・壊変(崩壊)・放射能/放射性物質・ラジオアイソトープ・放射性薬剤(放射性医薬品)・半減期・ベクレル(Bq)・シーベルト(Sv)

○検査の基礎用語○

核医学検査(SPECT検査/PET検査)・X線検査・CT検査・MRI検査

○治療の基礎用語○

放射線治療・外部照射・内部照射・核医学治療(内用療法)

項目をクリックをすると、詳細な説明ページへと飛びます。

放射線

すべての物質は、原子からできています。原子の中には不安定なものがあり、自ら、より安定なものになろうとします。その時に原子から放出されるのが「放射線」です。

放射線は大別すると、「速く飛んでいる目に見えない小さな粒子：α線、β線、中性子線」と「波長の短い目に見えない光（電磁波）：γ線、X線」の2種類に分けられます。

放射線は、見えない、聞こえない、無味無臭で触れてもわからないので、人間の五感では感じるできません。

また、その種類によって強さは異なりますが、放射線は物質を透過する(すり抜ける)性質があります。



放射線治療

がん細胞に放射線を照射する治療法で、主に局所治療として使われます。臓器を温存することができるため、体への負担が少ないのが特徴です。照射された放射線はがん細胞のDNAを切断するなどし、がん細胞を死滅させます。



2.1) 企画委員会の発足

②広報誌の発行

【目的】

- 手元に残る形で、会員全員に活動の紹介をする。
- ホームページに掲載している活動報告に加え、活動に至る背景や患者の声を集めてまとめる。
- 新しく興味を持った人にも渡せる広報誌を目指す。

【媒体】

- リーフレット

【頒布日】

- 2019年12月21日

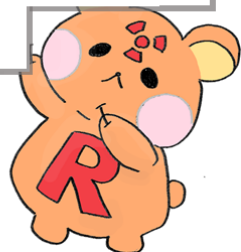
2.1) 企画委員会の発足

② 広報誌の発行

【ページ例】

- 今回は**創刊号**として、設立の経緯やこれまでの活動についてまとめた広報誌となった。

次の号 (Vol.02) は
現在企画中



・ヨーロッパでは標準的な治療として行われている治療を日本で受けることができないということは日本の患者にとって著しい不利益と考えます。

・日本は高度医療国で、わざわざ海外に出かけ、自費で治療することなど想像もしていませんでした。一刻も早くPRRTが国内でできることを心から願う次第です。

患者さんの声

手術後に受ける放射性ヨウ素内用療法のための待機時間が長く感じましたし、このままで大丈夫か不安がありました。

・投薬の量によっては、施設的な問題もあります。自宅からより近い所で、この療法ができれば、患者の精神的負担も軽減できるのではないかと思います。国内に放射線治療病室が増え、必要な時期に治療できるように祈願します。

・ゆっくり進むおとなしい癌と言われても、待たされているうちに進行するのではないかと、心配でたまりませんでした。是非待ち時間を短くしてください。

海外でPRRTを受けた患者さんたちの声

海外でPSMAを受けた患者さんの声

化学療法では改善しなかった様々な症状について、「この後は少しずつ具合が悪くなり、動けなくなるもの」と諦めていましたが、Lu177-PSMA治療で改善され、非常にうれしく、明るい気持ちになりました。Lu177-PSMA治療は化学療法と比べ副作用も軽く、前立腺がん多発転移の患者にとって希望になるものと感じました。

“国民の声”を届ける
核医学診療推進 国民会議 広報誌

Vol. 01
2019 WINTER

ゆるっと 創刊!!

広報誌タイトル総選挙実施!
お祝いには賞品あり

特集 **がん対策推進基本計画** 第3期
—核医学治療推進の体制整備と検討の必要性が明記— (R19-07)

創刊の挨拶

会長 絹谷 清剛
金沢大学 医薬保健研究域 医学系 核医学 教授


核医学とは放射線を出す医薬品を用いて診断や治療を行う医学分野です。最初に放射性医薬品がヒトに応用されたのは1926年と1世紀近く前ですが、一般の方々には未だなじみが薄いのが現状です。特に、放射性医薬品によるがん治療（核医学治療）は非常に有効であるにもかかわらず、国内では規制が厳しいこともあり、世界で標準的に行われている治療を行うことができないという事態となっています。そのため、海外に治療を受けるために渡航する患者さんが年々増加しています。このような治療を一日も早く国内で実施可能とするためには、医師・企業・患者が一致団結して行政に働きかけることが大切であると考えます。みなさん、一緒に活動を活性化しましょう。

2.1) 企画委員会の発足

②広報誌の発行

【広報誌タイトル総選挙 結果】

- 24件の投票があった。
- 投票の結果、⑤「**ホップ・ステップ・かくいがく♪**」が新たな広報誌名となった。

〈核医学診療推進 国民会議〉  得票数1位のタイトルが
広報誌名となります!

広報誌 **タイトル** 総選挙!!

候補誌名

①アイソトープ医療 wave	⑤ ホップ・ステップ・かくいがく♪
②あ～るあいセラピー倶楽部	⑥アトムのかわらばん
③アトム de 医療ニュース	⑦アトムからのお便り
④アイソトープ医療 NOW	⑧あとむのメガホン

2.1) 企画委員会の発足

③核医学治療一般向け資料の作成

【目的】

- 核医学治療の全体像を簡潔に説明する資料がない現状を踏まえ、個々の薬剤に特化しない核医学全体についての資料を作成する。
- 「患者さんとその家族」を対象とし、**Q&A方式**として作成する。

【媒体・頒布日】

- 検討中

2.2) 活動方針にPSMAを追加

活動方針にPSMAを追加

- 前立腺がん患者団体からの声を受け、活動方針の対象分野にPSMA（前立腺がん治療）を追加。
- 世界的に盛んに研究が行われ、前立腺がん治療へ取り入れられることが期待される分野である。
- しかし、他の活動対象分野と同様に、国内の法規制による扱いの難しさの懸念がある。

(参考) 【主な対象分野】

- PRRT（神経内分泌腫瘍の治療）
- 放射性ヨウ素内用療法（甲状腺がん治療）
- 塩化ラジウム（前立腺がん治療）
- PSMA（前立腺がん治療）NEW!

2.3) 関連患者団体等との連携

①男性がん総合フォーラムに参加

主催 NPO法人腺友倶楽部*

- 2019年11月24日に開催された男性がん総合フォーラム（Mo-Festa Cancer Forum 2019）において、絹谷会長が核医学診療と前立腺癌に対するPSMA-PET、PSMA核医学治療について講演を行った。
- 世界的に広がっているPSMA診断・治療の早期国内導入に向けて、声を一つにして活動を行うことの重要性を、参加者と共有した。

*NPO法人腺友倶楽部：前立腺がんの患者会

2.3) 関連患者団体等との連携

②がんの市民講座に参加

主催 日本アイソトープ協会
後援 核医学診療推進国民会議

- 2020年2月8日に開催された市民向けのがんの講演会（がん治療法、あなたの選択のために～プレシジョン医療と核医学診療がつくる未来～）において、絹谷会長が核医学治療について実例をまじえながら講演を行った。



2.4) 事務局業務の外部委託

- 検討中
(事務局業務委託会社と打ち合わせ中)

3.今後の活動予定

- 一般向け冊子（核医学全般の一般向けQ&A）の作成
- 市民講座等、一般向け勉強会の開催および共催
- 治験の推進等、政策提言の実現に向けた学会との連携による各基盤整備支援
- 国会議員向け説明会の開催